

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	モンキー'Sスクール			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 27日		～	令和8年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 7日		～	令和8年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児様の満足度向上を図る為、固定化されない多様なプログラム内容の検討・提供を行っている。	利用児様からの要望を取り入れる機会を設けるとともに、職員間での情報共有や検討を行いながら実施している。 言葉での理解が難しい児童に対しては絵カードなどを活用し、主体的に活動へ参加できるよう配慮している。また、運動プログラムでは脳科学についての専門知識をスタッフ一同身につけ、利用児様一人ひとりに合わせた独自の支援プログラムを進行している。	今後もプログラム内容が固定化しないよう、日々の活動の見直しや工夫を行い、児童が意欲的に楽しみながら参加出来る環境づくりに努める。また、利用児様のニーズを踏まえたプログラムのさらなる充実を図っていく。
2	多彩な余暇活動・体験活動の提供を行っている。	余暇活動や体験活動への参加を通じて、児童の興味・関心の幅を広げるとともに、有意義な時間を過ごす事が出来るよう支援している。また、個々の特性に応じた活動内容を検討し、参加しやすい環境づくりに努めている。	今後も、様々な体験や楽しみを感じられる活動の充実を図るとともに、職員一人ひとりが児童のニーズを把握し、それぞれに応じた支援や活動提供ができるように取り組んでいく。
3	避難・防災・防犯に関する訓練内容の充実を図り、安全意識の向上に努めている。	災害時の危険予測を高めるため、実際の状況を想定した訓練を行い、あえて事前に保護者様には訓練であることを伝えるが保護者様協力のもと利用児様には伝えず訓練を実施する。 利用児様たちがよりリアルに近い形で体験出来るよう工夫している。	実際の状況に近い体験型の訓練を取り入れる事で、利用児様や職員が緊急時に冷静かつ迅速に行動できる力の育成を図る。また、防犯対策についても外部機関との連携を視野に入れ、訓練や学びを行い体制強化に努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館など、地域の子供達との交流の場を提供できる機会が少ない。	イベント等を通じて地域の子供達と関わる機会はあるものの、定期的な交流先の確保に至っておらず、児童クラブや児童館との連携体制が十分に構築できていない。	平日の実施は難しい面もあるが、昨年も参加した近隣の小学校の祭りに参加する事や長期休暇期間や休日を活用し地域の子供達との交流の場の拡充に努めていく。
2	保護者様が交流を図る機会としてイベントの開催を行なっているが、密な交流を図る事ができていないため改善する必要がある。	イベントを実施しているものの、交流の機会が限定的であり、継続的な関わりや定期的な参加に繋がりにくい状況がある。	親子参加型のイベントや保護者同士が交流できる機会を定期的に実施できるよう職員間で検討する。また、内容の周知方法を工夫し参加しやすい環境づくりに努めていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		モンキー'Sスクール	公表日			令和 8年 3月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		部屋に分かれ少人数制で支援をしています。人数や支援内容によりスペースを確保している。認可で定められた平米数を確保しました、活動は少人数で実施している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		利用児様の人数に合わせて、配置人数を変更しています。規定よりも多い人数を配置している。	各学校送迎時に限り、事業所内での職員の配置が手薄になる事がある為、利用児様の居場所の確保やスタッフ配置を状況に合わせて行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所内の段差は無く、バリアフリー化されている。	行動手順や気持ちカードなど利用児様の手の届く場所にあることで、紛失してしまう事が多々あるため、掲示場所の改善や提示方法の改善を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		安全かつ清潔な環境を整えています。	運動プログラムで使用する用具などは、今後も定期的に点検を行い安全管理への徹底を行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静養室や個室を提供し、利用児様の要望に応じて対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月のテーマに沿って毎週振り返りを行っている。支援においては毎日共有簿にて振り返りを行っている。業務内容の改善を常に心がけている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年アンケートを実施し、親御様からの意見収集・改善を行っている。またホームページにも掲載している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日、ミーティングを行い意見交換し支援の改善に繋げている。また、その日の支援内容を全スタッフで把握している。	職場内で上司にも意見を伝えやすい環境づくりに努め、今後も風通しの良い環境整備に努める。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者委員会の設置を行っていない。	現在は行っていないが、前向きに検討している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社外研修や社内研修を通して、支援がマンネリ化しない様に心掛けている。定期的の実施している。	今後も社外研修に参加する機会を作りまた、今まで社内研修で行った内容ももう一度振り返り支援の質の向上に努める。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月の月間予定にてプログラムを作成している。HPにて支援目的や内容等を掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを行った上で計画書の作成を行っている。子ども・保護者共にアセスメントを行い、意見が反映される様に個別支援計画の作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフ間で対象となる利用児様の情報共有を行い、多方面からの視点を把握した上で計画作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全スタッフが把握し支援に繋げている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを用いたフォーマルな評価に加え、日々の支援や活動場面における行動観察、職員間での情報共有等を行い、総合的に把握している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づき児童の状況に応じた支援目標と具体的な日常支援内容を明確に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフ間で話し合いを行い、共通認識の上プログラムの進行を行っている。支援前に全スタッフが支援内容を思案し、活動内容を考えて取り組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		継続すべき事とマンネリ化に注意を払い、固定化しない様に工夫を行っている。利用児さんの意見を聞いたり、必要なことを日々模索しながら予定表を作成している。	令和8年度より職員一人ひとりが利用児様と一緒にしたい事、学びにつながる事などを予定に組み込み利用児様の経験の幅を広げる機会を提供する。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		課題や運動・SSTなど、利用児様の適応能力に合わせて1対1での支援と集団活動をバランスよく組み合わせながらプログラムを進行している。	実施後の振り返りを丁寧にやり支援内容の見直しや改善に繋げていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日ミーティングで振り返りやプログラムの事前会議を行い役割を決めている。必ず担当スタッフ間で連携や情報共有を支援前に話し合っている。	事前に話し合いを行っているが、利用児様のその日の体調にも変化がある為、その点も視野に入れる事やその日の利用児様の声にも耳を傾け職員間で共有し支援活動に繋げる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		共有ツールを通して支援記録を残し、振り返りと改善を毎日行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		独自の共有ツールを使って支援記録を記載し、毎日振り返りと改善を行なっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に行い実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインの基本活動に沿ってプログラムの作成を行い、各分野において多面からのサポートを心がけている。	余暇の提供を実施する中で、施設利用料や交通費の諸経費が重なり利用者負担が高騰する為、料金を踏まえた上で行き先や目的を吟味していく必要がある。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		プログラムの中で、自己選択時間を取り入れている。言葉での意思表示が難しい利用児様に対しては、絵カードなどを用いて選択できる手段を考え実施を図っている。	今後も利用児様が選択出来る機会を増やし自己選択できる活動を実施できるよう職員間で話し合い行う。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		日頃から学校や相談支援員様との連携を図り、サポート体制を整えている。	利用児様に応じて関係機関との繋がりはさまざまであるが、医療機関との繋がりが少ないため、必要に応じて連携を図っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の下校時間、行事等を学校側、保護者の方と共有し適切に行っている	下校時間等については、親御様との連携を求められる事が多く、連携体制の整備を整える必要がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前に利用児様が通っていた保育園や幼稚園との連携を図り情報共有を行なっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		次の事業所担当者と直接連絡を取り情報提供を行っている。	セルフプランの利用児様に対しては、学校との連携を図りつなぎあいシートの活用も検討している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		児童発達支援センターとの連携を図る機会が少ないため、研修などの受講を検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童クラブとの交流はないが、地域の親子も参加できるイベントを行い、交流できる機会を図っている	近隣の学童保育との関係を築き、交流を図る機会を作る事ができる様に検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		子どもの変化や状況を保護者の方、学校等と共有し利用児様に応じて必要な支援を取り組んでいる。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		外部講師に来ていただいたり、動画配信や文面等の配信を行いペアレントトレーニングを行なっている。	外部講師を招いて実践的な学びの場を提供する事を検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時には、書類を通じて必ず説明し、同意も得ている。疑問に感じた際にも迅速に対応している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		親御様との情報交換を大切にし、親御様の悩みや意向を踏まえて助言を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		毎年親子イベントを開催し、親御様にも参加して頂き交流の場として保護者の方との連携にも繋げている。	親子で参加しやすいイベントを考え、たくさんの方々に交流していただけるように改善を行う。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		必ずスタッフ間で共有し、改善や対応をしている。迅速な対応を心がけ、職員間で話し合いを行い体制整備に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、行事予定の発信を行うとともに、避難訓練等の報告も定期的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			各利用児様の個人情報の取り扱いについては、今後も厳重に注意を払い職員間でも管理方法の徹底を周知する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		意思疎通が難しい利用児様に対しては、工夫を行い本人の意思を発信できる方法を模索している。ペクスや絵カードを使用し、意思表示しやすく工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の方にも参加していただけるイベントを年2回、法人で取り組んでいる。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		研修などを行い親御様に案内文を送るなど取り組んでいます。内容や取り組みについて発信している。	今後も周知すると共にマニュアルを通してリアルを想定した内容で外部の方にも強力してもらい訓練などを実施する。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年間行事に取り入れ、年2回以上実施している	救出方法は毎年行っていないため、専門の方を呼び講習会を検討する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		対象となる利用児様については、スタッフ間で情報共有を行い、対応方法も周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象となる利用児様が在籍していない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理に対する定期的な会議や日々の活動の中で危険に繋がる事があれば、職員間で共有を行い対策を講じている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害時に居場所確認ができるツール（緊急時伝言サービス）を親御様と共有し周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった時には共有簿に記載し、職員で話し合い改善に努めている。ヒヤリハット視点を常に意識し、職員への共有を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年一回の研修に加えて日々の支援の中でも職員間で行動確認を行い、風通しの良い職場環境づくりに努めている。	日々の支援の中で、虐待と隣り合わせとなりうる行動がある事への危機感を職員一同認識し業務に就く事を徹底する。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		対象となる利用児様に対しては、他の解決策を入念に話し合うことも行っている。また、計画書への記載とともに対応策を説明し親御様に同意を得ている。	

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表 2026年3月30日

事業所名 モンキー'Sスクール 児童発達支援

回収数1

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1				
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	1				
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1				
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	1				
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1				
	⑥ 放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1				
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1				
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1				
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1				
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1				
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速に対応しているか	1				
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1				
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	1				
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	1				
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1				
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1				
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	1				
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	1				

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名		公表 2026年3月30日 モンキー'Sスクール	回収数10				
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9		1	実際の様子を見たことがないのでわからない。ただ、報告の写真等から工夫されているなどかんじている。	活動スペースについては、少人数のグループを作り安全に活動できるように実施している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10			配置数等はわからないが、どのスタッフさんも一生懸命に関わってくださっていると感じる。	保育士・児童指導員の配置や、少人数(5名程度)に対し職員2名体制で活動を行っています。引き続き質の高い支援に努めてまいります。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10			スロープや手すり等はあるが、バリアフリー化の配慮が適切かどうかといわれるとわからない。	事業所内の段差は無く、バリアフリー化されている。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10				
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10				
	⑥	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10				
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1			利用者負担が発生する活動については、事前に活動予定表にて内容及び費用の詳細を明示するとともに、実施前にも改めて当日利用される保護者へ個別に周知し、十分な説明を行うよう努めている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	1			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	1		保護者会などは無いように感じるが、クリスマス会などを通してどんな保護者さんがいるのかなど雰囲気はわかる。	行事を通して保護者同士が交流できる機会を引き続き大切にするとともに、保護者会などの実施についても検討し、連携を深められる場づくりに努めてまいります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速に対応しているか	10				
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10				
	⑭	個人情報に十分注意しているか	10				
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10				
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10				
	⑱	事業所の支援に満足しているか	10				

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	モンキー'Sスクール			
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月14日		～	令和7年1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親御様および訪問先の担当者との連携を密に図り、日常の様子を共有する事で、個々に応じた適切な支援内容の検討・実施に繋げている。	親御様からの要望要望に応じて、学校訪問や三者面談の機会を設け、多方面から児童を支援できる体制づくりに努めている。	新年度に伴う担任変更を見据え、児童のこれまでの様子や支援内容について継続的に情報共有を行い、円滑な引き継が出来るよう体制を整える。
2	利用児童ごとの得意・不得意を把握・共有し、特性や性格に応じた支援内容の提案・実施を行っている。	法人内で放課後等デイサービスを運営している強みを活かし、発達に課題のある児童や保護者、関係者に対して専門的な視点から助言・支援を行っている。	社内研修や勉強会を継続的に実施し、支援方法が固定化しないよう柔軟な視点をもって質の向上に努めていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所主体での情報共有やケース会議の開催が十分とは言えない。	関係機関主導での会議に参加する機会はあるが、事業所主体で情報共有や会議を企画する機会が少なかった。	事業所からも積極的に関係機関へ働きかけ、情報共有の場やケース会議の開催を行い、連携の強化を図っていく。
2			
3			

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日					令和8年 3月 30日		
モンキー'S スクール		利用児童数					1名 回収数 1名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1							
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1							
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1							
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1							
5	事業所からの支援に満足していますか。	1							
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
モンキーズスクール		R8年 3月 30日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
営・体制整	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。		○	情報共有や支援内容共有を訪問先の担当者に行っている。	現在も教材が必要な場面は無く、使用していない。今後も必要であれば、訪問先の教員との関係を図り、使用していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員間での情報共有を行い、支援計画をもとに訪問支援を行っている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回より評価を取り入れ、今後の訪問支援の改善に繋げようと考えている。	保護者のニーズや意向を踏まえ、改善を行っている。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		訪問支援を行うたびに、職員間で利用児様の様子を共有している。	指導員間での話し合いの場を設ける事や風通しの良い職場作りをし意見交換をしやすい環境づくりに努めている。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者委員会は設けていないため、実施していない。	現在は取り組んでいないが、前向きに検討している。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		会社内での研修に参加し、支援に活かせる学びの場を作っている。	今後も社外研修への参加を行う機会を増やせる様に取り組む。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		利用児様ごとに計画書を作成しており、先生方とも今後の支援方針を話し合い連携した支援が行えるようにしている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画書作成に対しての会議議事録も作成し、共通理解をした上での支援を心がけている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		○	現在は、利用児様や親御様の意向を取り入れた上で計画書を作成している。	今後、訪問支援を行った際に、担当教員の意向も聞いた上で連携を図る。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書が作成されると必ず確認し、利用児様への統一した支援が行えるようにしている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		独自のアセスメントシートを使用している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの内容を理解し、支援内容を定め共通理解に努めている。	
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		児発管と支援員との間で、訪問前に利用児様の様子や留意点について打ち合わせをしている。	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問職員と児発管で利用児様の様子や、先生方との話の内容を共有し訪問記録書として書面に残している。	
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問施設先の意向なども加味しながら支援を行っている。	
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
関係機関や	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に親御様とモニタリングを行い、計画書の作成を行っている。また、モニタリング期間以外にも親御様からの相談があった際は対応をしている。	
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		訪問先との連携は必ず行っている。	
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	現在、就園・就学される方がいないため実施していないが、今後そういった機会があり求められた場合は協力させていただく。	
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○	現在は研修等には参加していない。	必要な研修があれば、積極的に参加していく。

保護者との連携	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用児様の最近の様子や、親御様からの要望をお聞きしている。また、その相談を踏まえた上での訪問支援を行っている。	
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	現在は研修を行っていないが、家庭での声掛けの仕方や対応方法についての助言または、書面での情報提供をさせていただいている。	
	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
保護者等への説明等	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問先には必ず事前連絡をし、訪問先での様子もお聞きした上で支援方針を決めている。	
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		親御様の要望や相談内容、また利用児様の意見もお聞きより良く学校生活を送れるよう努めている。	
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった際は、その都度助言等の対応を行っている。	
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		放課後等デイサービスを利用している利用児様が保育所等訪問サービスを利用している為、放課後等デイサービスの方で親子で参加しやすいイベントを考え、たくさんの方々に交流して頂いている。	
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れがあった場合は、その都度対応しておりスタッフ間でも共有している。	
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		今後、保育所等訪問で必要な場合はSNS配信を検討する。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては、スタッフに周知し徹底している。	今後も厳重に注意を払い、職員間でも管理方法に周知する。
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			利用児様と親御様の間に入り、お互いの意向の情報伝達を行っている。	
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問した際の様子や今後の支援について話し合いを行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		先生方に共有する事項があれば、親御様に了承してもらった上でやっている。	今後も厳重に注意を払い、職員間でも管理方法に周知する。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		研修などを行い、親御様に案内を送るなど取り組んでいる。	
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		会社内の研修・訓練に参加し、安全管理を意識した中で支援を行っている。	
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			ヒヤリハット事項があれば、職員間で共通理解を持ち、再発防止に努めている。	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社外研修に参加し、虐待についての知識や必要な対応方法などを学んでいる。	日々支援の中で、虐待と隣り合わせとなりうる行動がある事への危機感を職員一同認識し、社内研修を引き続き実施する。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	現在は、身体拘束が必要な方は在籍していない。	

	公表	保護者からの事業所評価の集計結果
--	----	------------------

事業所名	モンキー'Sスクール
------	------------

公表日 令和8年 3月 30日

利用児童数 1名 回収数 1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				1		教材が必要な場面は無く、使用していない。 今後必要であれば、訪問先の教員との関係を 図り、使用していく。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	1					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	1					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					
	28	事業所の支援に満足していますか。	1					